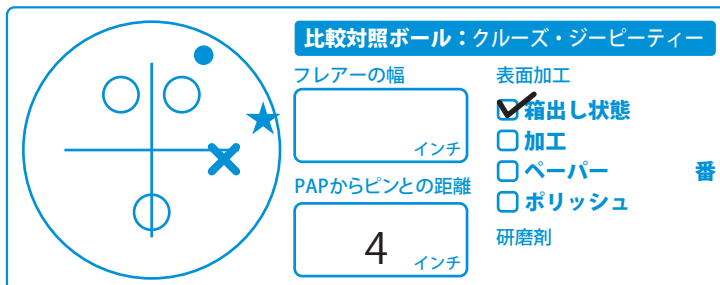
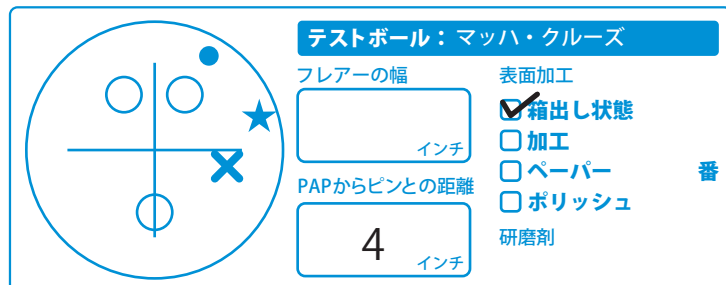


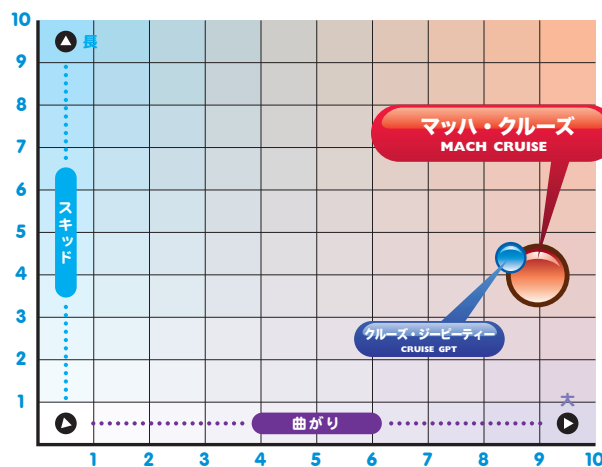
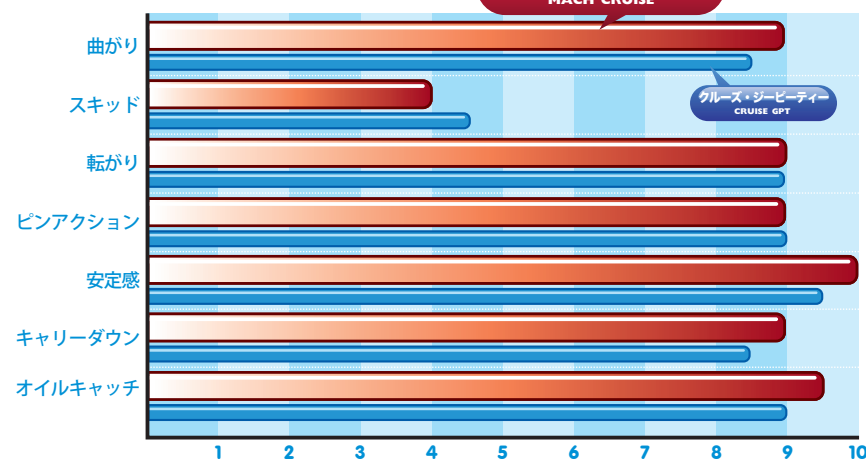
ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名	マッハ・クルーズ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	ΔRG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	



ヘビー
ミディアム
ライト
バフ



ボールの評価

これまでCRUISEシリーズが築いてきた「汎用性の高さ」はそのままに、新作『MACH CRUISE』は、走りだけでは語れない「本質的な強さ」を手に入れて登場しました。最大の進化点は、カバーストックです。前作「CRUISE」では滑らかに走りつつもバックエンドでのシャープな動きを見せるバランス型ハイブリッドカバーを採用していましたが、今作はナノベースの《RB93 Solid》に刷新しました。これはあのORIGINシリーズにも使われていたRB93ハイブリッドの進化形であり、より早い摩擦応答を生むソリッド仕様。これによりオイルゾーンでの立ち上がりが格段に早くなり、ミディアム～ヘビーでの高い信頼性を手に入れました。しかし、「ただ強い素材」を使えば良いわけではなく、過剰反応によるエネルギーロスという課題をクリアする鍵となったのが、仕上げに施された【Power Edge】加工です。強力なカバーに適度なスキッドを持たせるこの技術は、表面摩擦のコントロールとコアとのエネルギーバランスを見事に両立させ、プロや上級者からも高い支持を受けた実績を持っており、まさに「強さを制御する技術」が、このボールに秘められています。

コアは次世代の象徴とも言えるEllipticon A.I. コアで、すでに高い中間ΔRGを誇っていたベース設計に、AI技術を活用した外周構造を追加することで、RGはさらに低下し、ΔRGは上昇。実際に投げると、転がり始めが早く、しかも動きが途切れず連続的に続く…そんな驚きのコントロール性能が体感できます。これにより、ボウラーはラインの再現性が飛躍的に向上しました。CRUISEの名を冠しながらも、その性格やその性能は「立ち上がりの明確な高トラクション型ミッドパフォーマンスモデル」として、特に厚めのオイルコンディションでも押し切るだけの「下地の力強さ」を感じさせてくれるでしょう。

特記事項

走りから力へー。
MACH CRUISEは、ただの続編ではない。これは、CRUISEの名に宿る哲学を再定義する、革新の一球である。